

町民メッセージ

自分たちが始めた地引網。体験を通して、子どもたちに伝わっていることが、とてもうれしい。

荒東 高橋友次郎さん

〈会社役員／大正3年生まれ〉

ノリ、ワカメ、カキ、ホタテと、時代の波に乗って変わってきたけど、地場産業として栄えて本当に良かった。自分たちが苦勞してやっしてきたことが、こうして子どもたちに伝わっている。当時のことを思い出すと、懐かしくて涙が出るよ。



大人もみんな温かい人ばかり。いつも心のつながりを感じている。

五ノ一 菅原裕貴さん

〈高校生／昭和68年生まれ〉

小学生の頃から、家族四人で「海童いしやり」に入っています。周りにはいろんな年の人がいるけど、みんなすごく仲がいい。これからも踊り続けて、一緒に爽快感を味わいたい。



美しい自然に恵まれている町。子育てをするにも、とても良い環境です。

二区 千葉久美子さん

〈公務員／昭和46年生まれ〉

仙台から志津川に嫁いできて、一番思うことは、志津川は自然豊かで、とても暮らしやすいということ。いつまでも、この自然がずっと残ってほしいと思っています。



おじいちゃん、おばあちゃんが学校に来てくれる参観日が、とても楽しみです。

旗 菅原成美さん

〈小学生／平成7年生まれ〉

志津川小学校の行事には、祖父母参観日があります。必ず二人で来てくれるので、毎回とても楽しみです。おじいちゃんも、おばあちゃんも、優しいので大好きです。



志津川の子どもは、みんな目をキラキラさせている。若者の活力にあふれた、人と自然が集まる町づくりを。

旭ヶ丘 西條勗さん、町子さん

〈不動産業／島さん昭和22年生まれ、町子さん昭和28年生まれ〉

二年前に夫の故郷である志津川へ越してきました。志津川の子どもたちは、みんな純粋ですね。都会は人が多いせいか競争意識も増していたように思いますが、ここではみんな目をキラキラさせて、伸び伸びとしています。(町子さん) 将来は、やはり若者の活力が必要になってくると思います。外部から工場を誘致したりして、若い人の職場確保に力を入れる必要があり、要がありますね。マリンスポーツや自然を活かして、人と自然が集まる町づくりをしていってほしいと思います。(島さん)



チリ地震津波は、今も忘れられない。おにぎりを作って皆に配ったんですよ。

在郷下 菅原はまよさん

〈自営業／大正4年生まれ〉

二十一歳の時に、東和町米谷から嫁いできてから、ずっと酒屋をやっています。昔は近所にも、十日町にも、たくさんのお店があったけれど、今ではすっかり少なくなつて寂しいですね。一番印象に残っている出来事は、やはりチリ地震津波。おにぎりを作って、みんなに配ったことを今でもよく覚えています。



古いものと新しいものが共存できる町になってほしい。

右より 吉田大輔さん、佐藤京介さん、阿部津さん

〈中学生〉

町の自然はそのまま残して、産業が発展した近代的な町になってほしいと思います。(阿部さん) 志津川は美味しいものがすぐに食べられる良いところです。山や海に、自分でも採りにも行きます。(佐藤さん) 物の値段がもつと安くなつたらいいな。(吉田さん)

